

## 平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度の景気の状態は、緩やかな回復基調が続き、総体的に企業収益も良く、雇用は拡大しています。一方、サービス業を中心にした人手不足が深刻になっています。

更に一層進む少子高齢化により、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は減り続け、高齢者の就業機会が増えています。

このような状況のもと、就業機会の拡大を図るために就業拡大のチラシの全戸配布、役職員による事業所訪問、1 会員 1 就業開拓キャンペーン、独自事業のアイデア募集等々を実施しました。また、会員増強のために会員募集チラシの全戸配布を行いました。

平成 26 年度に 6 億円の大台に乗せた事業高は、民間事業を中心に堅調に推移し、前年度比 2 千 3 百万円増の 6 億 5 千 2 百万円となり、2 年連続の記録更新となりました。また、就業率も 80.6%となり、事業高と共に計画を達成できました。

派遣事業は、1 千 1 百万円（前年度比 159%）となり、独自事業につきましては、事業高が 6 事業のうち 3 事業で前年度を上回り、7 百 5 万円（前年度比 107.7%）と、6 年ぶりに 7 百万円台に回復しました。

会員数は、計画の 2,300 人には届きませんでした。退会者数は前年度より 20 人減少し、入会者数が 65 人減少した結果、前年同期比 4 人増の 2,242 人となりました。

### 1. 事業実績

#### (1) 事業高

##### 請負・委任の事業高

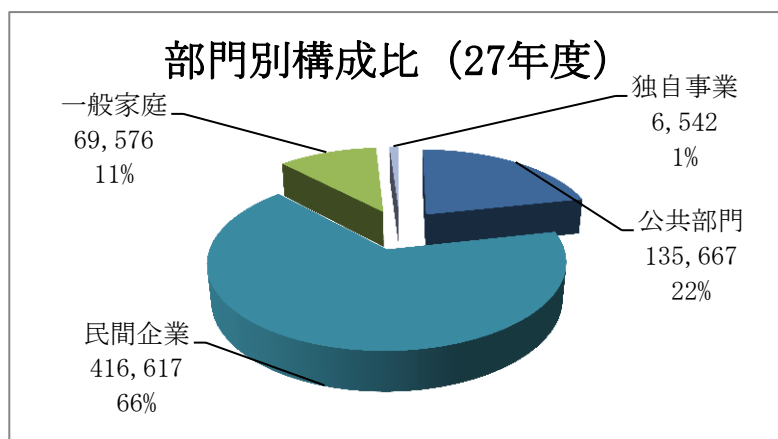
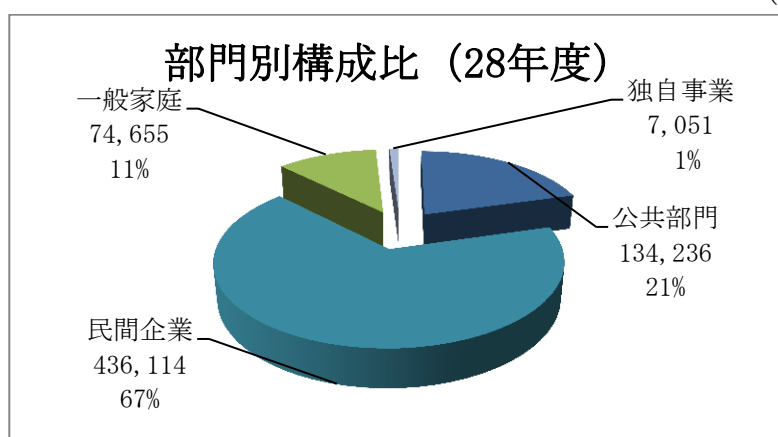
前述のとおり平成 28 年度目標 6 億 2 千万円を大きく超え、前年度比 2 千 3 百万円増（前年度比 103.8%）の 6 億 5 千 2 百万円と、過去最高額となりました。

民間事業所を中心に既存先の業務拡大や新規事業所からの小口の受注が増加したことが事業高の増加要因となっています。民間部門では 1 千 950 万円増（前年比 104.7%）となりました。公共部門では 143 万円の減（前年比 98.9%）となりました。公共の減少の主なもの、広報紙関係のスポットが少なかったことによります。

一般家庭では、508 万円の増（前年比 107.3%）となり着実な伸びを示しました。また、塩瀬・山口地区で刃物研ぎの「刃物研ぎの会」が新たにスタートしました。全体としては公共が減少したものの民間部門で受注が伸び前年を上回りました。

事業種別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年比	
公共	149,122,944 円	135,667,425 円	134,236,031 円	▲1,431,394 円	▲1.1%
民間	387,823,197 円	416,617,058 円	436,114,047 円	19,496,989 円	4.7%
家庭	62,065,189 円	69,576,874 円	74,655,003 円	5,078,129 円	7.3%
独自事業	6,292,764 円	6,542,043 円	7,051,397 円	509,354 円	7.8%
合計	605,304,094 円	628,403,400 円	652,056,478 円	23,653,078 円	3.8%

(単位 千円)



### 一般労働者派遣事業 (シルバー派遣事業)

事業高は1,093万円、昨年比4百6万円、59.2%の増、就業延べ人員では808人、49.6%の増となりました。27年度は「派遣3年問題」により大半の仕事が無くなりましたが28年度から法律改正により4年目以降も就業可能となったことと、派遣への積極的な取組みにより事業高が大幅に回復し、ほぼ26年度の水準までに回復しました。

派遣事業		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年比	
事業高		12,952,939円	6,869,394円	10,934,268円	4,064,874円	59.2%
就業実人員		24人	26人	26人	0人	0%
就業延人員		2,435人	1,629人	2,437人	808人	49.6%
手数料収入		2,931,699円	1,568,909円	2,494,023円	1,840,623円	59.0%
※ 派遣収入		(927,720円)	(653,400円)	(1,097,280円)	(443,880円)	(67.9%)
会員賃金		10,021,240円	5,300,485円	8,440,245円	3,139,760円	59.2%
平均就業日数	年	101.5日	62.7日	93.7日	31.0日	49.4%
	月	8.5日	5.2日	7.8日	2.6日	50.0%
月平均賃金		44,975円	22,017円	35,046円	13,029円	59.2%

※ 派遣収入は、上段手数料収入の内、兵シ協分を除いたセンターへの収入です。

### 「請負・委任」＋「派遣」の合計事業高

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年比	
合計事業高					
請負・委任	605,304,094円	628,403,400円	652,056,478円	23,653,078円	3.8%
派遣	12,952,939円	6,869,394円	10,934,268円	4,064,874円	59.2%
合計	618,257,033円	635,272,794円	662,990,746円	27,717,952円	4.4%

## (2) 会員の状況

新入会員が307人に対し退会会員は303人となり、平成28年度末の会員数は、4人増の2,242人、前年比0.1%の伸びとなりました。

毎月の市政ニュースへの入会PRの広告掲載と、12月に入会PRチラシの全戸配布を行い、併せて仲間を増やそう「会員増強キャンペーン」を実施しました。また、本年度は積極的な女性会員入会PRにより女性会員の入会者が前年比で29人増加しました。しかし、会員数の目標である2,300人には58人及びませんでした。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年比	
入会者数	327人	372人	307人	▲65人	82.5%
退会者数	274人	323人	303人	▲20人	93.8%
増減	53人	49人	4人	▲45人	0.1%
会員数	2,189人	2,238人	2,242人	4人	100.2%

## 会員数 男女内訳等

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	
会員数	計	2,189 人	2,238 人	2,242 人	4 人	0.1 %
		平均 71.6 歳	平均 71.8 歳	平均 72.1 歳	0.3 歳	---
	男性	1,482 人	1,510 人	1,485 人	▲25 人	▲1.7 %
		平均 72.1 歳	平均 72.3 歳	平均 72.6 歳	0.3 歳	---
	女性	707 人	728 人	757 人	29 人	4.0 %
		平均 70.5 歳	平均 70.7 歳	平均 71.1 歳	0.4 歳	---
粗入会率		1.62%	1.64%	1.63%		

上記、粗入会率計算方法： 会員数÷60歳以上人口 （23頁参照）

### （3）就業率の状況

就業率は前年に比べ0.1%上昇し目標の80%を上回る80.6%となり、就業実人員は前年より7人増加しました。要因としては景気の回復により受注件数、受注額が伸びたことと、ワークシェアリングに取り組んだことによるものです。その結果、年間就業実人員が過去最高の1,808人となりました。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	
会 員 数	2,189 人	2,238 人	2,242 人	4 人	0.2%
就 業 率	77.9 %	80.5 %	80.6 %	・ ・ ・	0.1%
就業実人員	1,705 人	1,801 人	1,808 人	7 人	0.4%
就業延人員	181,922 人	190,140 人	205,087 人	14,947 人	7.9%

## 2. 具体的な取組み

### （1）市場ニーズに応える就業開拓活動の推進【就業開拓委員会】

様々な広報媒体を活用し、委員会、地区地域班、会員、事務局と連携したセンター一体となる就業開拓活動になるよう取り組んだ。

- ・ 1 会員 1 就業開拓キャンペーンを 3 月に実施。22 人から 32 事業所への PR 訪問報告があった。

- ・情報チーム、広報・PRチーム編成で活動を行った。
- ・新規開拓として市内の事業所を訪問した。 訪問件数：20件
- ・独自事業アイデアを会員から募集した。応募の5件について検討した。
- ・理事が受注先事業所訪問を行い、受注の拡大と適正就業について確認と依頼をした。 2月・3月 10カ所の事業所訪問
- ・いきいきシルバーフェア、市民祭で会場及び阪神西宮駅周辺でPRチラシ及びテッシュ配布を行った。
 

配布部数	フェア	：	580部
	市民祭	：	1,000部
- ・秋と春の白水峡墓参バスの利用者に阪急西宮北口駅と市役所前で「お墓掃除」PRテッシュ配布を行った。
 

配布部数	春	：	500部
	秋	：	500部
- ・春の彼岸に満池谷墓地3カ所の出入口でPRテッシュ配布を行った。
 

配布部数	春	：	550部
------	---	---	------
- ・「さくらFM」にスポットCMを通年放送。日曜、火曜の昼前
- ・地域情報誌「宮っ子」、シニアライフ協会会報「いぶき」に広告掲載、年2回。
- ・阪急バス西宮営業所管内車内ポスター広告 平成28年11月から
- ・阪神バス山手回り路線車内放送 平成28年12月から
- ・年度計画に掲げた介護保険法の改正による新総合事業への取組みについては、2年間検討しましたが現在のところ事業参入とまでは行きませんでした。

## (2) 健康で安全に就業できる環境づくり【安全委員会】

会員の健康と安全に関する以下の事項を推進しました。

- ・就業先（除草・剪定現場）10カ所に出向き、安全パトロールを実施し就業環境の安全確認を行いました。
- ・スポーツ施設の設備について危険性の有無確認のため現地調査を行った。
- ・救命講習会をセンターで1回 各地区では下記のとおり実施しました。

月 日	主 催	場 所	参加人数
10月12日	塩瀬・山口	塩瀬公民館	8人
10月29日	夙 川	北夙川消防署	12人
2月 4日	甲 東	甲東公民館	13人
2月13日	津門・今津	今津公民館	12人
3月 7日	センター・瓦木・中央	センター2階	21人
参 加 者 数			66人

- ・就業先で自動車運転をされる方には隔年で自動車運転適正検査を実施しました。

2・3月 参加者 46人

- ・交通安全の講習会は西宮警察署、甲子園警察署、兵庫県自動車学校、兵庫県安全協会の協力を得て以下の講習会を実施しました。

月 日	講 習 会 名	参加者
7月 12日	交通安全講習会（自転車、歩行者）	21人
9月 29日	兵庫県高齢者自転車競技大会	4人
9月 30日	交通安全講習会（鳴尾地区）	20人
10月1日～1月8日	100日間無事故 無違反運動	10人
10月 20日	交通安全講習会（浜脇地区）	21人
12月 5日	自動車運転講習会	13人
12月 16日	交通安全講習会（自転車、歩行者）	33人
1月 26日	交通安全講習会（鳴尾南地区）	23人
3月 14日	交通安全講習会（自転車、歩行者）	25人
参 加 者 数		170人

- ・健康維持と増進のために西宮保健所地域保健課の協力を得て健康講習会を2回実施しました。

熱中症予防 7月 27日 参加者 18人

寒い冬の健康管理 2月 15日 参加者 11人

- ・「いきいきシルバーフェア」に西宮保健所、西宮スポーツセンター、整体師の先生の協力を得て市民の方を含め健康相談と体力測定を行いました。

健康相談 40人

体力測定 114人

整体 24人

健康体操 50人

- ・事務所掲示板及び月報に無事故継続日数の掲載を行いました。
- ・事故防止と安全への各種の取り組みを行いましたが、不注意による傷害事故が10件、賠償(物損)事故が3件 発生しました。

傷害事故	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年比増減
就業中	9件	9件	6件	▲3件
就業途中	1件	2件	4件	2件
(内自転車)	4件	0件	1件	1件

- ・安全就業基準を違反した会員へのペナルティー制度は検討中です

### (3) 衡平な就業を提供する取組み【適正就業委員会】

衡平な就業の提供と長期間、長時間就業の是正のため下記の取組みを行いました。

- ・ 昨年同様、月報での「お仕事のご案内」で就業紹介を行いました。
- ・ 事務局が「就業相談会」（常設）において未就業会員の就業に繋げる支援を行いました。  
相談会員 38 人、 内就業できた会員 19 人  
※相談会員の内、紹介したが就業辞退が 3 人
- ・ 長時間・長期間就業の是正について、厚労省、全シ協作成の適正就業ガイドライン（「シルバー人材センターのご案内」）を広く会員に広報しました。
- ・ 会員理事と事務局により、発注者訪問し適正就業ガイドラインの周知に努めた。
- ・ 各地区総会等で適正就業ガイドラインである「シルバー人材センターの案内」の解説を行った。
- ・ 適正就業日数、時間超えの就業状況を調査し、是正に取り組んだ。

### (4) 地区地域班活動の活発化【地区地域班活動推進委員会】

全地区の役員会に出席し、地域班活動が多くの会員の参画により活発に運営できるよう、委員会としての支援を検討しました。

#### 各地区での意見を大別すると

- \* 広報紙配布業務を継続するための会員の確保が困難
- \* 総会などの会議、地区イベントへの参加者が固定化され減少傾向にある
- \* 地区役員の負担は少なくない

#### 広報紙配布業務への支援

地区地域班では広報紙配布業務の人員確保が最大の課題であり、7月1日、12月2日に全地区の広報紙配布責任者会を実施。配送センター会員も一緒に各地区の問題点や成功例などを話し合った。

すぐに解決できる問題と継続して検討する問題に整理した。

#### 地区地域班の就業と活動

- ・ 市政ニュース等広報紙の配布

市内全戸（約 23 万部）を対象とした広報紙配布業務は地区会員の努力により高い評価を得る中で円滑に実施できました。一方、会員の高齢化が進み、交代会員がなかなか見つからない慢性的な配布会員不足などの問題解決に向け地区間の情報交換を行い解決策を検討しました。

市政ニュース	年：23 回	
県民だより	12 回	
市議会だより	4 回	
県議会だより	4 回	全広報紙配布事業高
市営住宅だより	4 回	95,471,805 円

社協だより「しあわせ」	4回
県民共済	3回
選挙広報紙	4回
その他（スポット）	7回

- ・ 地域の子どもたちが遊ぶ公園遊具の安全を確保するために、市内全域約 530 カ所の公園で、遊具等の安全点検業務を実施。毎年の年度初めには会員による研修会も実施した。
- ・ 地区地域班での会員相互の交流と親睦  
地区ごとの総会、役員会、講習会、また独自の親睦会やボランティア活動を通じて会員間の交流や親睦を図った。
- ・ 地区独自のボランティア活動  
17 頁の表の清掃ボランティアを実施した。

#### **（5）就業グループの育成と支援機能の強化【事業推進委員会】**

就業グループ及び一人就業の職場で発注者の満足度を得ているか、仕事をするうえで問題は無いのか、委員会としてどう支援できるのかを検討した。

- ・ 複数の会員で就業している既存の 32 チームに加え、新たに 5 チームに就業チームの結成要請を行い定例会議の実施を進めた。
- ・ 就業中の 32 チームの定例会議報告書の内容のチェックを行い、問題提起のあった事案には事務局と連携し対応に当たった。
- ・ スポーツ施設とスーパーのチーム会議に参加し、問題や課題の聴き取りを行い、会員の仕事への真剣さや発注者、お客様への心遣いを理解した。
- ・ 家事援助に就いている一人就業会員の意見交換・交流会を 2 回実施した。
- ・ 就業に役立つ講習会の検討を行い、新たに自転車修理講習会を実施した（20 頁参照）。

#### **（6）事業の企画・推進、広報機能の強化【企画・広報委員会】**

会員が主体となった事業運営体制を確立するために、委員会活動、地区活動の活発化を支援し内外情報の受発信体制の強化に取り組んだ。

- ・ 委員会活動の調整と支援  
各委員会の活動内容を取りまとめ、四半期ごと「委員会だより」を作成し地区へ伝達した。  
会員増強チラシ、就業開拓チラシの素案の検討を行った。
- ・ 就業機会の拡大



会員登録データの更新を月報で呼びかけた。

厚労省「地域就業機会創出・拡大事業」へのエントリー内容を検討した。

・広報媒体の多面的な活用

月報を発行した。掲載記事はセンター活動、委員会活動、地区活動、講習会、会員交流会、その他各分野を網羅できるよう検討を重ねた。

・会員主体による諸活動の推進

いきいきシルバーフェア 11月19日(土) 六湛寺公園

来場者数 : 1,925人

実行委員会委員数 : 17人

当日スタッフ : 121人

研修バスツアー(淡路島) 11月30日(水) 参加会員数 : 110人  
同好会・サークル活動への支援

同好会作品展 10月18~23日 北口ギャラリー

来場者数 : 582人

出品会員数 : 49人

## (7) 会員活動の活性化【総務委員会】

会員拡大と、様々なセンター活動に会員がより活発に参画できるよう環境整備を行った。

・新たに会員拡大チラシを作成し、12月に全戸配布を行った。

・女性会員入会に力点を置いた市政ニュース掲載案内を行った。

入会者数 : 307人(内女性会員129人(42%))

・会員の口コミによる会員拡大の取組みについて地区役員会で主旨説明を行った。

・月報により会員による会員拡大キャンペーンへの参画を呼び掛けた。

・会員ハンドブックによる入会説明会時間の配分見直しを行った。

・11月の入会説明会より2名の会員体験談を組み込んだ。

・「いきいきシルバーフェア」で市民向け相談コーナーを設置し入会呼びかけと受注の受付を行った。相談件数 : 22件

・28年3月実施の「仕事の紹介に関するアンケート」結果概要を月報10・11月号に掲載した。

・健康体操や栄養、食事についての勉強会とコーラスを楽しむ「楽しくエアロ」を10月から毎月第2金曜に実施。

参加者数 : 135人(10月~3月)

・女性の集い

今年度は会場等の事情により実施できず(今年度分を29年4月9日に実施)。

・コンプライアンスの遵守について検討した。

## (8) 社会貢献・地域貢献活動の積極展開【社会参画推進委員会】

清掃ボランティア活動を通じ、地区が特性を考えて地域交流、会員が地域住民との融和と交流を図った。

- ・地域と密着した“春の清掃”は各地区地域班の自主性を優先して実施。“秋の合同清掃”は、本年シルバー人材センター法制化30周年記念にあたり、全国統一日の10月15日に「ぐるり西宮クリーンアップ2016」として実施した。清掃区域は各地区独自で検討し会員に呼びかけた。
- ・塩瀬・山口地区では例年通り青少年愛護協会山口支部主催の「有馬川のホタル生息地」保護のための清掃に参加した。

地区名	実施日	場 所	参加人数
浜脇	4月3日	夙川オアシスロード	54人
中央	5月7日	広田の杜	51人
夙川	5月21日	銀水橋～JR鉄橋までの夙川公園	37人
地区独自清掃参加者数 3地区 計			142人
浜脇	10月15日	御前浜海岸	49人
中央	10月15日	市立中央体育館周回道路	52人
夙川	10月15日	銀水橋～JR鉄橋間	39人
鳴尾 津門・今津	10月15日	阪神甲子園球場周辺道路	52人
鳴尾南	10月15日	武庫川河川敷公園 南部橋～阪神武庫川駅	30人
瓦木	10月15日	山手幹線大屋町交差点～両度町南	61人
甲東	10月15日	阪急門戸厄神駅～阪急甲東園駅周辺道路	39人
塩瀬・山口	12月3日	有馬川河川敷	24人
センター合同清掃参加者数 9地区 計			346人
28年度清掃ボランティア参加者 合計			488人

本年度も「子ども工作教室」「ぴよぴよサロン」は有志の会員グループが実施した。残念ながら予定していた「こども将棋大会」は事務手続きの不手際により本年度中には実施できなかった。

- ・「夏休み子ども工作教室」は小学校低学年児童を対象に“ペットボトルロケット”作りを指導。会場いっぱい熱気が溢れ、完成後の実験タイムではこども達の歓声に包まれた。

- ・「ぴよぴよサロン」は0歳児から1歳児半のお子さんたちと若い母親たちと、子育てグループの会員が遊び、話し合う、ほほえましく、和やかな雰囲気であった。本年度は2回実施。

実施日	事業名	場所	担当会員数	参加市民数
6月14日(火)	ぴよぴよサロン	広田山荘	7人	親子10組 20人
8月6日(土)	夏休み工作教室	センター	7人	親子13組 36人
11月16日(水)	ぴよぴよサロン	広田山荘	6人	親子9組 18人
11月19日(土)	シルバーフェア工作教室等	六湛寺公園	8人	53人
参加者計			28人	127人

- ・「ベルマーク収集活動」を初めて5年。これまでは、東日本大震災被災者に支援してきたが、その後、熊本地震他風水害被災が続いたため、支援先をベルマーク財団に一任することとした。

平成28年度収集結果(3月末 整理時点)

ベルマーク 多数寄せられましたが集計中  
使用済みインクカートリッジ 1,200個

## (9) 組織活動の活発化

理事会、委員会、事務局が連携して効率的な事業運営に努めた。

### ①理事による発注者訪問

理事による発注者訪問を行い受注拡大を依頼した。(12頁参照)

### ②委員会活動

8つの委員会体制で理事、委員が事業計画に沿った運営、取組みを積極的に行った。

### ③財政体質の強化

事業収入の安定化を目指し、公益法人に相応しい適切な支出に努めた。

### ④関係団体との連携

- ・兵庫県、西宮市、全シ協、兵シ協、近隣シルバー、社会福祉協議会等、関係機関との連携に努めた。
- ・西宮市と総合事業の指定事業者になるかについて1年間協議を続けた。
- ・阪神ブロック先進シルバーである甲賀市シルバー人材センターの視察研修に理事と事務局が参加した。

⑤派遣事業への取り組み

適正な受注となるよう積極的に派遣業務のPRを行った。

⑥有料職業紹介事業

センターは兵シ協が実施する有料職業事業の実施事業所である。平成28年度は職業紹介に至るまでの相談事例等の結果はなかった。

⑦職群班の推進

- ・新たな独自事業班として会員の努力により刃物研ぎのグループを立ち上げた。
- ・新たに就業5チームを職群班とした。(15頁参照)

⑧就業相談会の実施

就業相談会を継続実施した。(14頁参照)

⑨効率的な事務局業務の推進

- ・事務局が先進シルバーである京田辺市シルバー人材センターを視察した。
- ・事務局が尼崎市、伊丹市、芦屋市、川西市の各シルバー事務局と事務処理について情報交換した。
- ・事務局が養父市シルバー人材センターの取組みを視察した。
- ・全シ協、兵シ協、民間開催の研修会に出席し事務能力の向上に努めた。

⑩講習会・研修会等

会員の講習会実施グループが中心となり、マナーアップ講習会、技能講習会を実施し会員の就業意識と技能の向上を図った。

	テーマ	実施日	講師	場所	受講者数
毛筆 筆耕	講習会 1回目	5月10・11日	会員	センター	10人
	フォローアップ	6月7・16日	会員	センター	7人
	講習会 2回目	10月4・5日	会員	センター	8人
	フォローアップ	11月8・22日	会員	センター	6人
	ブラッシュアップ	1月17・31日	会員	センター	6人
家事 援助	整理術	6月29日	西宮消費生活 専門家会議講師	センター	27人
	清掃	7月22日	ダスキン	広田山荘	12人
	幼児との接し方	10月12日	子育て総合センター のびのび青空間副所長	センター	14人
	傾聴	11月9日	芦屋市シルバー 会員	センター	5人
	調理	12月5日	ラターブルモンクール オーナシェフ	中央 公民館	9人
	認知症サポート養成講座	12月6日	西宮市キャラバンメイト	センター	14人

マ ナ ー ア ッ プ	接客基礎編	7月13日	関西トータルマナー	センター	12人
	接客基礎編	11月25日	関西トータルマナー	センター	25人
	接客基礎編	2月22日	関西トータルマナー	センター	15人
包丁研ぎ		9月13日	会 員	センター	10人
包丁研ぎ フォローアップ		11月7日	会 員	センター	5人
障子の張替え		10月26日	会 員	別館	5人
自転車パンク修理		3月15日	会 員	センター	16人
除草・剪定		3月31日	会 員	広田山荘	15人
			19回/24日	延べ受講者数	221人